茶式雜纂

二

ヲ多9
784
2

門 ヲ約
號 784
卷 2

炭くゝ仕法四条和任書

一炭元拵の為の為の為

天目、上ケ茶入ハ右の手ニ持左の手ニ添盆のまへ
ニ茶筅先を上ニ成ぬるして盆の左のしら
ニ茶筅を左の手ニ成右へうつしさ
ゝ盆の茶ニ取り柄杓右ニ持左ニて柄ニおそぬまわし
湯を汲右の茶碗ニ入又柄杓を左ニ入柄杓を右へ
茶を右の天目ニすくひ但天目ひの上ニ茶を入ル
すぐに茶筅盆の右ニ置て茶ニ水目樣ニ盆如天目ニの
上ニて再茶筅をすぐして茶筅を右ニ湯をこぼし茶巾
ニて上ル茶せんをぬぐふくゝめ茶筅を盆ニ入左の手ニ目のけく
茶をすくふ湯をこぼし茶巾をほりてすくゝ茶筅を盆ニ
入茶入右の手ニ持左の手ニ添而茶を盆のまへ

三井文庫

盆ニ茶筅ハ左ニ茶碗右乃ちやうゝより入左ニ入茶柄
右ニて目の上ニ伏まわけて茶入ニ成ぬ口ニ茶を
て取ニ一盆ニ茶筅取盆ニ一茶を保ニ天目の内
ニ成て柄杓ニ入ル成ぬ茶筅の先ニ上ニて茶
盆の柄杓の盆ニ成の隅ニ成柄杓を茶ニ成合、一枚
入て湯を汲右を天目ニ湯を入左ニ入右ニ天目ニて茶を
左ニ成ニ茶筅を茶筅ニ成入右の天目ニ成ニ盆の
右乃天目樣ニ成ぬ如ニ盆ニ成右の天目を左の手ニ
持ル

天目ニ成ハ亭主の前ニ成ニ置ニ成ル
茶ニ成ハ一口ニ成ニ成ル天目を左乃手ニ持ル

天目ニ成ハ上ケ
ハ左ニ下ケて可成
茶ニ成ハ天目ニ成
ニ成ニ成ル

茶筅を太のように左ノ手にて茶
釜を入

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]元の炉に金第取上ち土屋五[illegible]
[illegible]掃ひ[illegible]火箸[illegible]合金合図[illegible]相[illegible]を
炉の除に炭をつぐ初炭もつぐる合より精細つぐ炭
すべし入方の[illegible]をしてすべし入すみたりはい
わるく[illegible]入第[illegible]図炉[illegible]より掃入
第一篇長[illegible]時は[illegible]を[illegible]時は[illegible]
[illegible]合入[illegible]入の[illegible]第中[illegible]の上
の[illegible]の上[illegible]を仰て[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
持[illegible]大行口[illegible]小[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

次の[illegible]入[illegible]水次上の[illegible]入

四本柱[illegible]子圍爐裡点様 二ツ天目

一[illegible]の[illegible]中下[illegible]天目[illegible]の[illegible]
[illegible]初の天目[illegible]の[illegible]
炉ハ[illegible]炉の[illegible]但第[illegible]
右の天目[illegible]
柄杓の柄杓建[illegible]
一同[illegible]炉[illegible]天目一ツの時[illegible]右同事也

瓜紅壺子風炉之点様

一然所左、下ろる壺左の手に茶入右の手に茶筅を持て天目左の手に持て茶入右の手に持て下り常の作法如ふちや入を見て天目の茶を組て茶を小点様に上る

茶入を作る壺上くりかたを見て三ヶ所に上る

茶入の作りを壺上くりかたを見て三ヶ所に上る

茶入の右の手に茶筅左の手に茶巾を持て

茶入は右の手に茶筅左の手に茶巾を持て

茶巾を上る

茶入は右の手に茶筅左の手に茶巾を持て

天目 湯を入る時左の手に茶巾を持て

茶巾は白の上茶巾の上に置て壺

茶を入れ一度くるくるまわし茶入を引

壺を上て茶筅を再する茶筅をすくふ右手の上に

茶巾を上て天目の上に置

右の手に茶筅左の手に茶巾を持て

茶筅を下に入る茶杓天目の上に仰

壺茶入の口にくるくる

の上の壺の中に壺茶杓左の手に添て取る茶をすくふ

天目の角に打先に水一つ入て壺に壺水指の蓋に打て

茶筅を一杯入湯を汲て天目に入茶を立て茶筅

茶巾の上に壺て天目に入る客の方へ客に向て茶筅

さすし 天目あるを客仕舞て直すと信玄の湯を入

水をこぼす又水を入る茶筅すく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

茶釜を[illegible]時は天目の[illegible]茶釜[illegible]茶釜の[illegible]

長谷天目を[illegible]時は湯を入れ[illegible]天目を[illegible]
[illegible]又は[illegible]茶釜を[illegible]の上にして茶釜
柄杓のそこを[illegible]茶中[illegible]
[illegible]茶釜[illegible]
[illegible]天目[illegible]
柄杓[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

鞆形茶碗にて茶をかくさせて茶巾をとり茶中を
きよめ湯をくらして天井へあけ釜の上を覆ひて釜柄杓
を取湯を汲茶碗へ入茶筅をも入てよくまぜまぜ茶碗
にて茶碗たのくもりを取たくうつし茶巾にて取茶碗縁
をかくかくかの釜の上にて茶入たのまへ左のまへ添
水上にて左のまへにおたくしてくるを取釜のおの柄を中へ
りもせみ釜の柄を取茶をすくして茶碗へ入一度くるまわし
茶の色を見て茶碗の上をかけかくるを取茶の口を
ふきふきをしてもとのもとく取置て釜を茶碗元へ戻して
茶をとりてふ茶碗のゆんをあけかくるを取出て釜の底を
釜にてさ鞆の上へ茶をけひ鞆をとりて水杓の上へを取

一枚湯を釜へ入湯を汲て茶碗へ茶を点ず茶釜
鞆の点ず釜 釜蓋より水を汲て釜へ入 釜の茶碗底
と清れ釜の釜湯を入の水を入指しかたふきあけ
水を汲て入ちやせんにて茶釜蓋のおく底を水を汲て
茶筅を入茶筅を茶碗の点ず茶碗へ水を汲て
釜へ入湯の入りて天井へあけ釜の蓋を取指の上をメた
蓋水を取入茶碗取入茶入れ初めは釜を不取茶碗
入をまぜまぜ上茶碗をかくるを取蓋の蓋を見てかくを
ちらし蓋を取上膝の上へ置かくを底を見て茶
入を使べ初メ 茶見る時ふくを取て取口拭水杓
水をかくし古キ茶巾をてのの上まれを也を四方をて入

茶を振へ底を見て受
あるをこれ入又初て
茶を入れ入れ袋茶杓
平をの時茶をはかた
茶巾を袋拭入べし

瓜紅園爐裏点様　盆を

瓜紅の通り回る　但盆を茶の湯の中ゆる
茶釜　柄杓の外茶を一すくひ下る盆　扨天井をつくさしと
掃　茶巾　上ケ紙拭　丸盆　柄杓　立て盆　釜の上を取
柄杓を立て湯を汲　茶碗へ釜の上を〆柄杓立て盆
ちやせんをおして茶釜を右へ廻す盆　茶巾　ほうをつくりて
茶碗の湯をこぼし　しをく
茶を入て　湯柄杓を左へ釜の上を取　湯を汲　水を注ぐ
なし　中略　茶せん
仕廻　時分を釜へ汲入て　湯を　上ケ　柄杓　天井　盆　釜
の口をメ　茶碗　水指　つくる

柄杓杓立て　わ月
太の通り　柄杓　左の
通り　三杯　少　
うもけて　杓　立て

釜置組物成に又帛
減に紙ハ半帛宜シ
折目容ノ方

炭客ノ見物ハ　釜ノ
うへ　前　置　ま　ハ　よ
つく　但　客　ノ　見
ま　ま　ハ　ま　ハ　ま

○釜置紙ハ陸帛　但紙ハ
炭入ル釜　釜の上ノ上ニ
ハ　ハ　ハ　ハ　入

当の炭仕様　炭師

炭取持出座ス　座ニ炭ハ　ろく　扨　釜の上ヘ　第　七　蓋ノ
上ヘ　ス　帛　炭　ハ　ス　の　ろ　ま　ス　ま　ス　ま　ス

風炉の灰を取て炭を入れ筋鉄を口に当て筋鉄を入れ

常に用炉程炭に付て

炭を入れ火を置て炭をくべて炭の上に筋を入れて

上に茶釜と筋釜と炭取との三つを取合て

炭取の炭の上に火箸を取て下火を一寸程置

炭取の炭の上に火箸を置て

炭取の炭の上に火箸を置て

炭取の炭の上に火箸を置て

取出す事柄杓にて茶碗に茶を掬入れ
茶碗の茶すこし残る事 茶碗の茶
又は堂庵柄杓の玄底を茶碗に
充て玄底取出す茶杓九度入中
茶巾を取りて茶碗の上を柄杓の上を
玄湯を汲茶碗へ柄杓入れ
汲て茶巾にのせ 取茶碗をつきちやせん
茶の上に茶杓左に杓立て取 茶碗の
茶入玄茶をすくい入茶杓茶碗の
杓にて茶を七度まぜ茶杓九度
ゆらゆらと茶入の上に玄杓の
杓にとりて一杓左へ入て出す

小茶入は茶杓無事

大抵の時は右の茶の
茶巾出す時は茶筌
して茶をすくい出す
事不拘

茶碗へ茶を
すくい入茶筌にて
かしてすくい
茶杓左に
茶杓左に
元出す

茶碗左口を
湯に浸す
湯を汲入
茶筌にて
茶をすくい

湯を汲入茶を点る 茶碗に茶を
茶筌にて湯を汲入
そこなう又水を入
水を入 茶入茶筌入 茶杓にて
茶碗に茶入を茶碗の右
にて二杓 茶筌の湯
にて 柄杓にて茶
水 柄杓左の
水 柄杓
茶入の上柄 上を下
もって茶を出す
この手にて 茶碗

儀式ハ右手ニ茶碗ヲ持ツ
左手ニ水指ヲ取ル

儀式ハ風炉ノ図ヨリ

小茶入ヲ取ル風炉ノ図ヨリ
茶巾ヲ取ル水指ヲ取ル
水指ヲ取ル時ハ茶巾ヲ取ル

茶碗ヲ取ル水指ヲ引き跡ヲ拭テ元ノ如ク置テ
水指ヲ取ル 乃チ元通ノ如ク 扨テ右手ニ茶杓ノ左ヨリ茶入ヲ
帝ノ濃茶点様 周作記

茶碗ヲ取ル茶入ノ下ヲ茶巾ニ左ヨリ受テ水指ノ
上ヲ拭ヒ茶碗ヲ取テ水指ノ高サニ置テ茶
巾ヲ右手ニ取テ茶入ノ上ヲ拭ヒ茶碗ヲ
取テ茶入ノ上ヲ拭テ元ノ如ク置テ茶碗ヲ
出シ中ニテ茶入ノ上ヲ茶巾ニ茶巾ヲ元ノ
ヲ拭テ茶巾ヲ元ノ如ク置テ釜ノ下ニ取置
テ茶碗ヲ入釜ノ蓋メ杓ヲ取テ茶筅ヲ取テ茶碗ヲ入

湯ノ入ル分ノ茶入ハ
時ハ茶筅ヲ左ヲ先ニ
湯ヲ入ル
大抵ハ茶碗ノ高サハ
柄杓ノ上ヲ釜ノ高サ
上ヲ茶巾ニ取ル者

ル茶筅ヲ引ハ茶碗ヲ茶巾ニ茶碗ヲ
持ツ所ヲ右手ニ茶入ヲ取茶碗ノ縁ヲ
不ル茶筅ヲ右手ニ茶入ヲ左ヲ先ニ取茶碗ノ縁ヲ
ヲ拭ヒ茶杓ノ上ヲ拭テ茶碗ノ上ヲ拭テ
口拭ヒ茶巾ニ茶ヲ中ニ茶杓ヲ左ノ如ク茶ヲ取ル
茶ヲ碗ニ茶碗ノ縁ヲ茶入ノ上ヲ杓ヲ取釜ノ
ヲ入テ湯ヲ汲ム茶筅ヲ取テ点ル 点ル 点ル茶巾
ヲ釜ノ上ノ上ニ水指ノ蓋ヲ取 水指ノ蓋ヲ汲ム 茶ヲ
茶碗ニ手ニ持テ白ク風炉ノ図 茶入茶碗ノ釜ノ水指ノ
ヲ上ル

薄茶点様

風炉用炉部分大概図

水指杓立置のうし下る事　相客してお先へ茶事有る事

次に茶入右茶碗左へ杓立置の合　勝手も左へ置事

杓立取節の下の箒を持てぬぐひ茶巾取出す事　杓立後

茶碗ふきもして茶入をとり出し仮置　巾を畳て

取て茶入の上へ置　茶をむし出す　茶入の

巾を左へ杓立の上へ置　湯を茶碗へ汲む

茶筅をふりして　茶巾取上て左のくまへ

右へ茶入取て湯をこぼし　茶巾をしぼる　茶巾入

茶碗　太のまへ取出す　茶巾取出す　合の蓋の上へ置

茶の方へ右へ茶入を取　茶入の蓋を取ちゝ碗へ置

次に杓立の蓋を取て湯を汲入　杓立汲む　茶筅

二度ふりて　太のまへ杓立合　杓立の蓋

なし　二度ふりて　茶巾を畳て　茶巾

茶碗の方へ置　湯を入て　茶巾を

茶碗の上へ置て　茶を入る出す　仕廻のすみ茶

碗に湯を入て　ちゝとこぼし　ちゝとふりして

茶せん　茶巾を出して　茶巾取て入

茶を入　茶杓をとり　茶入の上へ置　茶入引き

出す　茶入の蓋の上へ置

茶の方へ右へ茶入の方へ置

風炉の時は杓立の方へ置　茶入の合

風炉の時は杓立の方へ置　湯を入る

茶入の方へ置

[illegible]

[illegible]

[illegible]

指の第二と第三を茶巾に当て茶碗の内へ茶巾を
一回茶碗を廻し薄茶入れ出し、指先にて茶巾を天目指
出だのごとく之合

一濃茶の時茶碗を茶巾にて拭ふ茶碗を拭ふ茶碗
茶入取りはらい指先にて茶巾を茶碗の縁
取茶碗茶入を左手に茶を入れて茶筅を茶入の上へ置茶入を
又茶の時茶碗を指先にて茶巾にいつもの如く拭者は茶入
茶を点ずと上客次の客へ渡り次の客へ茶巾を
茶入を不拭と茶巾茶筅を右手茶入を
濃茶入の時茶筅を茶入の上へ出す茶碗を拭
茶碗茶濃て茶入を見物の茶筅見る時は仕直の茶を

又
茶巾は二折りにしてあり
茶碗へ入茶入又は
くくり包袋入の仕方は
下に記す

又
茶巾初め者茶の桐の箱
に仕舞ふ茶碗の縁
茶筅を入れ者とも
茶巾茶筅入れ者とも
桐の箱にて
茶筅は桐の箱の
内に茶筅入れ
かくのごとく

又
一中立の間に水指の上に茶巾茶筅を置茶碗の内へ茶入仕直
茶筅茶巾茶筅入れ者の茶筅茶巾持出
茶入の袋にて茶筅の茶巾を差茶筅の
口をぬぐて茶筅取出右手にかくし茶巾の口をして茶筅の下
茶筅を上へ茶筅茶巾茶筅を常の如
一茶入茶筅茶一覧と上客へ渡す時は亭主取出る
上客の茶を亭主取出す時茶入を出し茶筅亭主
右の茶筅茶入を返す
一茶入と茶の時は白元茶入を右の如くして可戻
一桐箱いろりの時ちやうん茶筅桐茶入れ三つ持て之合

茶筅棚ニ置時ハ茶筅持出
茶筅をとり茶入と並合

右 阪井然ゝ菴聽書 何英 勝富ハ蔵
子家最秘箱 一子相傳之書也矣

維時寛暦庚辰歳春三月